

パルシステム ネイチャーポジティブ宣言

地球における気候変動はいま、早急かつ有効な対策が不可欠な状況です。気候変動対策は、地球温暖化の抑制と生物多様性の保全が密接につながっており、この2つの車輪を同時に進めていくことが求められています。

2022年12月に開催されたCOP15（国連生物多様性条約第15回締約国会議）において生物多様性の新たな国際目標が設定され、ネイチャーポジティブの方向性が明確に示されました。締結国は2030年までに生物多様性の損失を食い止め、反転させ、回復軌道に乗せることで合意しています。

私たちパルシステムは「心豊かな暮らしと共生の社会を創ります」の理念のもと、「環境・エネルギー政策」を策定し、「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現に向けた事業活動を実践しています。

特に農畜産分野は「産直」を活動の軸と位置づけ、生産者とともに「産直4原則」を実践し、生産者、消費者（組合員）の双方の「安全」「安心」を実現するとともに、生産地の環境を守る活動を行ってきました。

また水産分野でも日本周辺海域の水産資源の回復と利用促進をすすめ、環境保全の支援も積極的に行っています。

さらに林業分野は、木材の生産はもとより豊かな水資源や生態系をはぐくむ環境を整備するなど、森林が命と暮らしを支える機能であることを認識し、交流と学習を中心とした活動を行っています。

このようにパルシステムの活動は、個別の課題解決から生態系サービスの維持を図ってきました。今後はさらに、森・里・川・海の有機的なつながりを意識し、それぞれの地域、ひいては地球環境を保全する取り組みを広げていきます。

1. 地球温暖化防止と生物多様性保全を多面的に支援する活動を実施します。
2. 生産者とともに、生活に身近な森林、里山、里地、農地、河川、海の水多様性と私たちの生活への恩恵を理解し、日本の貴重な自然を保全して次世代に引き継いでいく活動に取り組みます。
3. 生物の多様性を保護し、自然環境と調和した「環境保全型農業・資源循環型農業」を広げます。
4. 森林の持つ機能を十分に理解するとともに、その機能が産業として持続可能となるような支援を実施します。
5. 河川や海洋の保全活動、再生活動を推進し、日本周辺海域の持続可能な水産資源を回復させることを目指します。
6. 廃棄を前提としない考え方により、資源を循環させ効率的に利用し、ネイチャーポジティブの実現に向けて私たち1人ひとりが環境負荷の少ない暮らしを実践し広めていきます。